

世界の宝 九州5つの祭り

ユネスコ無形文化遺産
「山・鉦・屋台行事」

(平成28年12月1日登録)



佐賀県唐津市
唐津くんちの曳山行事



福岡県福岡市
博多祇園山笠行事



大分県日田市
日田祇園の曳山行事



福岡県北九州市
戸畑祇園大山笠行事



熊本県八代市
八代妙見祭の神幸行事

妙見祭グッズ紹介

他にも、様々な妙見祭
オリジナルグッズがあります。



手ぬぐいバッグ



キーホルダー

JR利用 新八代駅着、八代駅まで鹿児島本線(約5分)

- ◎新大阪駅より(山陽・九州新幹線)……………約3時間20分
- ◎博多駅より(九州新幹線)……………約49分
- ◎熊本駅より(九州新幹線)……………約10分
- ◎長崎駅より(長崎本線・九州新幹線)……………約2時間
- ◎大分駅より(豊肥本線・鹿児島本線・九州新幹線)……………約3時間
- ◎鹿児島中央駅より(九州新幹線)……………約43分

車利用 シートベルトをしめて安全運転

- ◎福岡ICより(九州自動車道)……………約2時間
- ◎長崎ICより(長崎自動車道・九州自動車道)……………約2時間30分
- ◎佐賀ICより(長崎自動車道・九州自動車道)……………約1時間30分
- ◎大分ICより(大分自動車道・九州自動車道)……………約2時間50分
- ◎宮崎ICより(宮崎自動車道・九州自動車道)……………約2時間5分
- ◎鹿児島ICより(九州自動車道)……………約1時間45分

《交通に関するお問い合わせは》

- JR九州[新八代駅]————TEL0965-31-8005
- JR九州[八代駅]————TEL0965-32-4472
- 肥薩おれんじ鉄道[八代駅]—TEL0965-32-5678
- 産交バス[八代営業所]——TEL0965-32-5145
- 神園交通[空港直行バス]—TEL0965-32-2121

八代市
への
アクセス



航空機利用 熊本空港より直行バス(約60分)

- ◎東京(羽田空港)より 熊本空港まで……………約1時間30分
- ◎大阪(伊丹空港)より 熊本空港まで……………約1時間

《宿泊・観光に関するお問い合わせは》

- (一社)DMOやつしろ————TEL0965-31-8200
- 八代市観光振興課————TEL0965-33-4115

《栈敷席に関するお問い合わせは》

- 八代商工会議所————TEL0965-32-6191

お問
い
合
せ

八代妙見祭保存振興会 TEL 070-5819-8246

公式ホームページ <http://www.myouken.com>

公式Facebook <http://www.facebook.com/myokensai>

《発行》

八代市伝統文化活性化協議会

◆事務取次/八代市経済文化交流部文化振興課

〒866-0844 熊本県八代市旭中央通3-11 TSビル3F
TEL0965-33-4533 FAX0965-33-4516



「山・鉾・屋台行事」の ユネスコ無形文化遺産

平成28年のユネスコ無形文化遺産保護
護条約第11回政府間委員会において、
日本が提案してきた国指定重要無形
民俗文化財である33件の「山・鉾・屋台
行事」が審査され、ユネスコ無形文化
遺産に登録(代表一覧表に記載)する
との決議がなされました。

「山・鉾・屋台行事」は、祭り開催地
域の住民にアイデンティティや持続性、
芸術的創造性を与えるものであり、
また、保護団体の指導のもと、コミュニ
ティが自治体と協力して伝承活動を行
っていること、山・鉾・屋台の部材等



において環境的持続性を計画する
取り組みがなされていることなどが
評価されました。

「山・鉾・屋台行事」33件のうち、
九州では八代妙見祭(熊本県八代
市)、博多祇園山笠(福岡県福岡市)、
戸畑祇園大山笠(福岡県北九州市)、
日田祇園(大分県日田市)、唐津くん
ち(佐賀県唐津市)の5つの祭りがあ
ります。

◎登録決定までの経緯

- 平成21年 9月 「京都祇園祭の山鉾行事」と「日立風流物」が
政府間委員会において記載の決議(登録決定)
- 平成23年 9月 「八代妙見祭の神幸行事」が国の重要無形民俗文化財
の指定を受ける
- 平成26年 3月 「京都祇園祭の山鉾行事」と「日立風流物」を拡張し、
国指定重要無形民俗文化財を「山・鉾・屋台行事」として
グループ化して提案される
- 平成26年 6月 審査件数が上限を上回ったため、「山・鉾・屋台行事」の
審査は1年先送りとなる
- 平成27年 3月 再提案される
- 平成28年10月 評価機関より「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」
への記載勧告
- 平成28年12月 政府間委員会において記載の決議(登録決定)



ユネスコ 無形文化遺産

ユネスコ(国際連合教育科学
文化機関)の事業の一つ。
「無形文化遺産」とは、人々の
慣習や描写、表現、知識、技術並
びにそれらに関連する器具、物
品、加工品及び文化的空間のこ
とをいいます。同じくユネスコ
の事業である「世界遺産」が建
造物などの形があるものを保
護の対象とするのに対し、「無
形文化遺産」は民俗文化財、口
承伝統などの無形のもの(無形
文化財)を保護対象とすること
を目指したものです。



山・鉾・屋台行事

地域社会の安泰や災厄除を願
い、地域の人々が一体となって山や鉾
などの山車(ダシ)を担いだり、引い
たりして練り歩く神社の祭礼行事。
ダシは「出しもの」の意味で、祭りに招
き寄せる神の依代になるものです。現
在では、飾り付けられた練りの屋台
そのものをさすようになり、人が乗っ
て祭囃子を奏で、歌舞伎狂言などの
芸能を演じる屋台なども含まれま
す。このような祭りは全国にみられ、
曳山、だんじり、祭屋台、山鉾、昇山、
笠鉾など、名称や外形は様々です。



◎山・鉾・屋台行事 全国33の祭り

| | | | |
|----|---------------|----|-----------------|
| 青森 | ①八戸三社大祭の山車行事 | 石川 | ⑮青柏祭の曳山行事 |
| | ②角館祭りのやま行事 | 岐阜 | ⑯高山祭の屋台行事 |
| 秋田 | ③土崎神明社祭の曳山行事 | | ⑰古川祭の起し太鼓・屋台行事 |
| | ④花輪祭の屋台行事 | | ⑱大垣祭の軋行事 |
| 山形 | ⑤新庄まつりの山車行事 | 愛知 | ⑲尾張津島天王祭の車楽舟行事 |
| 茨城 | ⑥日立風流物 | | ⑳知立の山車文楽とからくり |
| 栃木 | ⑦烏山の山あげ行事 | | ㉑犬山祭の車山行事 |
| | ⑧鹿沼今宮神社祭の屋台行事 | | ㉒亀崎潮干祭の山車行事 |
| 埼玉 | ⑨秩父祭の屋台行事と神楽 | | ㉓須成祭の車楽船行事と神渡流し |
| | ⑩川越氷川祭の山車行事 | | ㉔鳥出神社の鯨船行事 |
| 千葉 | ⑪佐原の山車行事 | 三重 | ㉕上野天神祭のダンマリ行事 |
| | ⑫高岡御車山祭の御車山行事 | | ㉖桑名石取祭の祭車行事 |
| 富山 | ⑬魚津のタテモン行事 | 滋賀 | ⑳長浜曳山祭の曳山行事 |
| | ⑭城端神明宮祭の曳山行事 | 京都 | ㉙京都祇園祭の山鉾行事 |



ユネスコ無形文化遺産
への登録決定を機に、
九州5つの祭りの保存
団体や自治体は、連携し
ながら「山・鉾・屋台行
事」を後世に保存・継承
していく取り組みを行っ
ていきます。

| | |
|----|-------------|
| 福岡 | ㉚博多祇園山笠行事 |
| | ㉛戸畑祇園大山笠行事 |
| 佐賀 | ㉜唐津くんちの曳山行事 |
| 熊本 | ㉝八代妙見祭の神幸行事 |
| 大分 | ㉞日田祇園の曳山行事 |

八代妙見祭の 神幸行事

平成23年国重要無形民俗文化財指定

●開催日／11月22日～23日
●場所／八代市
八代神社(妙見宮)

八代妙見祭は、八代市妙見町にある八代神社(妙見宮)の秋の大祭です。約380年の歴史をもち、九州三大祭りの一つに数えられる祭礼行事です。16世紀頃には神輿の巡行が行われ、町人文化が花開いた元禄の頃(17世紀の終わり頃)には、八代城下の町々から笠鉦や獅子、亀蛇など、趣向を凝らし、贅を尽くした出し物が奉納されるようになり、次第に豪華になっていきました。
当時の祭りの様子が江戸時代(19世紀初頭)の絵巻物に描かれており、現在の神幸行列は、その絵巻物を忠実に再現。神輿や豪華絢爛な笠鉦など40の出し物、約1700人が参加し、およそ6kmの道のりを練り歩きます。



問合せ／八代妙見祭保存振興会
TEL070-5819-8246
八代市文化振興課
TEL0965-33-4533
公式HP／www.myouken.com

◎11月22日

《お下り》

八代神社(妙見宮)から塩屋八幡宮へ向けて、神馬と神輿を中心とした行列が発発します。

《御夜》

熊本では祭りの前夜、夜を徹して神々を護ることを「護夜」と称し、前夜祭を「御夜」と呼ぶようになりました。八代妙見祭の御夜は、本町アーケードで笠鉦・亀蛇・獅子などの展示と、奉納団体や町衆が陣を設営し、夜市などで本祭への心意気を披露します。



御夜

◎11月23日

《お上り》

午前7時30分に獅子を先頭に、40の出し物が塩屋八幡宮から八代神社(妙見宮)に向けて出発します。



塩屋八幡宮



とさきのかから 砥崎河原

◆獅子

八代妙見祭の獅子は神幸行列の道筋を清めるため、先導を務めます。長崎文化の影響を受けた中国風の衣装や楽器などが用いられています。雄と雌の1対で、1匹の獅子の中に2人が入り、頭・前足と尻尾・後足をそれぞれ操ります。演舞では、チャルメラやドラなどに合わせて、「玉振り」という少年のもつ玉を噛み付いて奪おうとする姿を表情豊かに演じます。

◆笠鉦

八代城下の町々から奉納されているもので、全部で9基あります。傘のように1本の柱によつて支えられ、欄間や幕などの飾りは傘の先端から下がついています。簡素な傘型から変化して次第に豪華さを競うようになり、複雑になったものと考えられます。ひとつひとつデザインが異なり、子孫繁栄や商売繁盛などそれぞれに意味が込められたおめでたい飾りが付けられています。高さは5m近くあり、台車に載せて曳き回したり担いで練り歩いたりします。200から300個の部材から成り、祭り開催の度に、釘を使わず組み立て・解体が行われています。

◆亀蛇(キダ)

「亀蛇(キダ 通称ガメ)」は、妙見神の乗り物とされる亀と蛇が合体した想像上の動物で全長3m、高さ2.5m、重さ130kgあります。5人の男たちが中に入り、4人が胴部分を担ぎ、1人が首を操ります。川に入つて水しぶきを上げたり、客席に走り込んだりして、祭りを盛り上げます。



- 1 獅子
- 2 花奴
- 3 木馬
- 4 鉄砲
- 5 毛槍
- 6 白利幣
- 7 籠
- 8 笠鉦菊慈童
- 9 神馬
- 10 神馬奉行
- 11 甲冑武者
- 12 大麻
- 13 大太鼓
- 14 神官
- 15 阿須波神
- 16 火主水主風主
- 17 奏樂大太鼓
- 18 奏樂
- 19 四神旗
- 20 紙幣
- 21 弓矢
- 22 対の檜
- 23 御太刀
- 24 神輿
- 25 長刀
- 26 紫翳
- 27 菅翳
- 28 立傘
- 29 斎主
- 30 笠鉦本蝶魚
- 31 笠鉦蘇鉄
- 32 笠鉦西王母
- 33 笠鉦狸々
- 34 笠鉦蜜相
- 35 笠鉦恵比須
- 36 笠鉦松
- 37 笠鉦迦陵頻伽
- 38 流鏝馬
- 39 亀蛇(ガメ)
- 40 飾馬(花馬)

お上り行列

福岡県福岡市

博多祇園 山笠行事

昭和54年国重要無形民俗文化財指定

- 開催日／7月1日～15日
- 場 所／福岡市櫛田神社

「博多祇園山笠」は、櫛田神社に祀られる素戔鳴尊に山笠を奉納する祭り行事で、正式には櫛田神社祇園例大祭といえます。776年の伝統がある祭りの起源は、1241年に承天寺の開祖である聖一・国師が宋の国から帰国した際、当時博多の町に流行していた疫病を封じ込めるために、町人達のかつぐ「施餓鬼棚」に乗って甘露水（祈禱水）を撒いて博多の街を廻つたのが始まりとされています。

山笠には「昇山笠」と「飾山笠」の2種類あるのが特徴で、これは、電信架線の整備により山笠が電線を切断してしまう事故が相次いだことから山笠が分化されたものです。

現在では、博多の街を駆け抜ける勇壮豪快な「昇山笠」と、絢爛豪華な「飾山笠」として伝統継承されています。この祭り行事のクライマックスは15日の未明、一番太鼓の合図とともに走り出す「追山笠」で、15日間の祭りは一気に最高潮へと達し、ファイナレを迎えます。



問合せ／博多祇園山笠振興会
TEL092-291-2951
福岡市にぎわい振興課
TEL092-711-4111(代)
公式HP／www.hakatayamakasa.com

福岡県北九州市

戸畑祇園 大山笠行事

昭和56年国重要無形民俗文化財指定

- 開催日／7月第4土曜をほむ3日間
- 場 所／北九州市戸畑区一帯

210年を越える歴史をもつ戸畑の伝統行事「戸畑祇園大山笠行事」は、飛騨八幡宮、菅原神社、中原八幡宮の3社の夏まつりで、「提灯山」の愛称で広く親しまれています。

昼は山笠本来の姿といわれる、轆山笠で、金糸銀糸の刺繍を施した格調高く華麗な姿を披露しています。夜になると飾り物をはずし、12段309個の提灯に彩られた光のピラミッドへとその姿を変えます。提灯大山笠の高さは約10m、重さが2.5tあり、鉦や太鼓のお囃子にあわせて数百人の担ぎ手が交代して勇ましく担ぎます。

中日に開催される「戸畑祇園大山笠競演会」には4基の大山笠と中学生が担ぐ4基の小若山笠が一堂に会し勇壮な競演を行います。



問合せ／北九州市戸畑区役所総務企画課
(戸畑祇園山笠振興会)
TEL093-871-1501(内262)
公式HP／tobatagion.jp

佐賀県唐津市

唐津くんちの 曳山行事

昭和56年国重要無形民俗文化財指定

- 開催日／11月2～4日
- 場 所／唐津市唐津神社

「唐津くんちの曳山行事」は唐津神社の秋季例大祭です。

獅子や兜、亀や鯛など、14台の絢爛豪華な曳山が唐津の町を笛・鐘・太鼓の曳山囃子とともに練り歩きます。曳山は一番古いもので江戸時代末期に製作されており、和紙や漆・金箔などで仕上げられた巨大な漆工芸品となっています。

2日の宵ヤマでは、提灯に照らされ幻想的に浮かび上がった曳山が、唐津くんちのはじまりを祝うかのように旧城下町を練り歩きます。

3日の御旅所神幸では御神輿のお供をして旧城下町を一巡後、御旅所がある西の浜へ向かいます。そして最大の見せ場となる砂地である御旅所へ曳山の曳き込みが行われます。

4日の町廻り（翌日祭）では曳山のみ巡行となり、曳子は最終日を目指す存分楽しみます。



問合せ／唐津駅総合観光案内所
TEL0955-72-4963
唐津市生涯学習文化財課
TEL0955-72-9195
公式HP／www.karatsu-kankou.jp(唐津観光協会)

大分県日田市

日田祇園の 曳山行事

平成8年国重要無形民俗文化財指定

- 開催日／7月20日すぎの土日曜
- 場 所／日田市隈竹田豆田地区

「日田祇園の曳山行事」は、隈地区の八坂神社・竹田若宮神社・豆田八坂神社の3社で行われる祇園祭の総称で、曳きだされる山鉦は現在9基あり、幾重にも人形が重なる独特な様式をもっています。山鉦の建造は正徳4年(1714年)に始まることされていますが、祇園祭そのものは正徳以前から行われていたといわれています。

祭りの前に流れ曳きと集団顔見世、祭礼日の2日間は町内を曳き、夜の晩山巡行でクライマックスを迎えます。

山鉦内で演奏される日田祇園囃子は、江戸末期から明治中期までの俗曲や端唄を篠笛にアレンジしたもので、1基の山鉦に笛4～5人、太鼓、三味線各1人が乗り込み、独特の音色で山鉦巡行に華を添えます。



問合せ／日田まつり振興会
TEL0973-22-8210
日田市文化財保護課
TEL0973-24-7171
公式HP／www.city.hita.oita.jp(日田市)